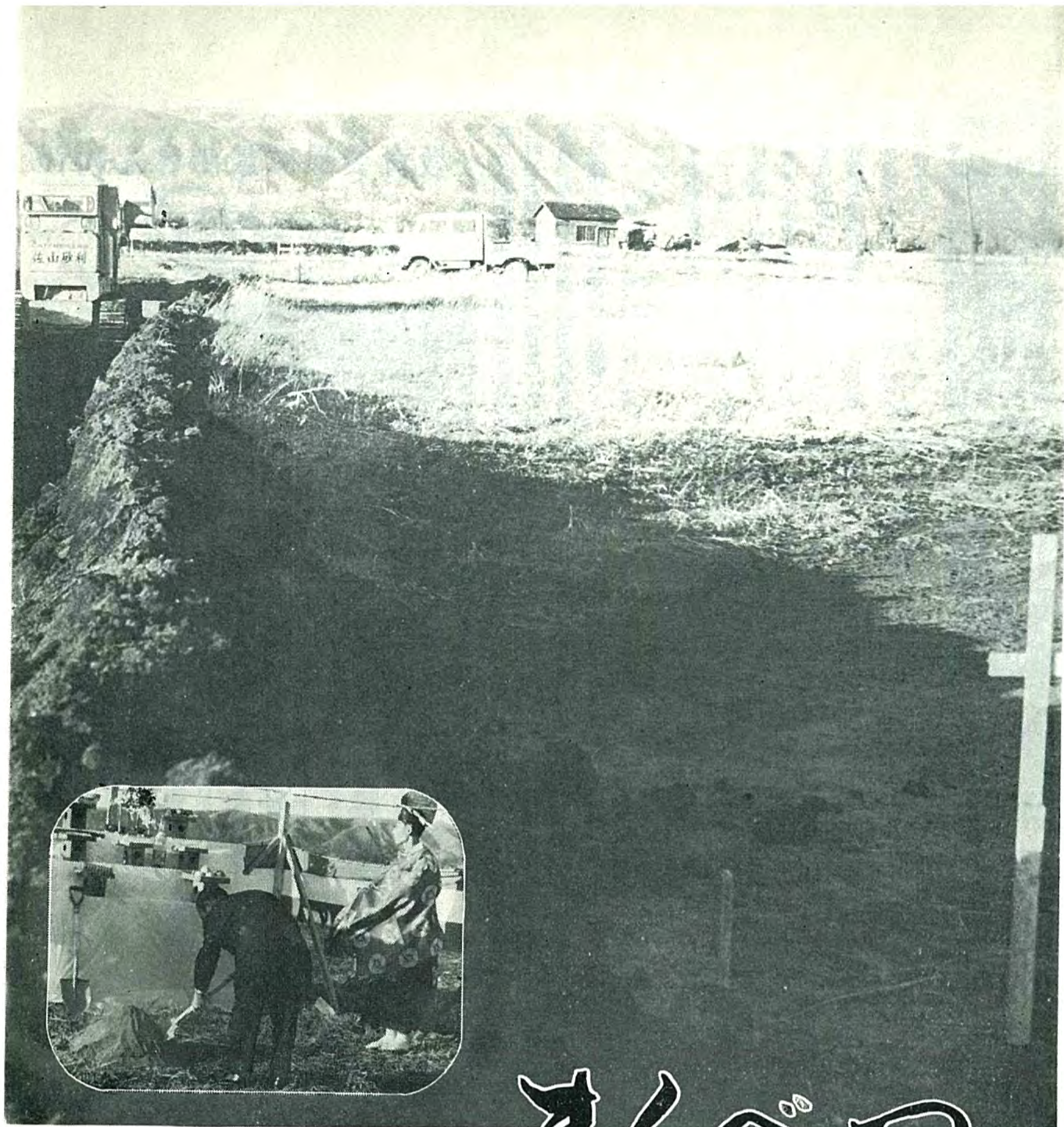




まくべつ

今月の題字は高橋鈴童さん（宝町）に書いていただきました

広報

11

1970

旭町団地の造成起工式

町振興公社と北海道住宅供給公社が提携して造成する旭町住宅団地の起工式が、11月12日の午後、現地で実施されました。この旭町住宅団地は元亜麻会社敷地で、住宅400戸建設可能な広い面積があり、近く宅地の分譲をおこなう予定となっています。

工事は明年7月いっぱいかかりますが、正式に分譲する場合にはなんらかの方法で、購入希望者にご連絡することになっております。

写真は工事が開始された旭町住宅団地と起工鍬入れ式

—主な内容—

町議会／無線電波……………	2 頁
消費生活モニター……………	3 頁
道営土地改良事業……………	4 頁
国勢調査／自治功労者………	5 頁
十勝愛育園……………	6 頁
交通安全／五輪聖火……………	7 頁
古舞10周年／あゆみ……………	8 頁

教育委員に景山さん再任

臨時第4回町議会



町民会館で初めて開かれた町議会。騒音にも悩まされず、スピーダーに運営されました。

臨時第四回町議会が十月二十七日に町民会館で開かれ、任期満了の教育委員会委員の選任など六議案を審議、何れも原案通り可決しました。可決した主な内容は次の通りです。

▼教育委員会委員の選任について

任期満了となった景山倫夫さん（錦町・医師）が再任されました

▼自治功労者の決定について

町議会議員の服部間一さんら四名が決定しました。氏名および表彰式は別項。

▼非常勤特別職々員の給与に関する条例の一部を改正する条例

例 条例のうちの「その他の非常勤

特別職々員」の報酬および日常旅費を改正しました。その他の非常勤特別職々員とは国保指導医師など診療関係者のことです。

▼道営土地改良事業にともなう



中里地区で受信する調査員の一行

感度良好

各種の連絡事項を周知させるとき

去る九月末に幕別農協屋上から無線電波を発射し、町内各地でこれを受信、たいへん好結果をおさめました。今まで農民の方々に

農協屋上から無線電波を試射

▼道営西糠内地区土地改良事業の施行について

分担金の負担について
北海道土地改良事業分担金徴収条例にもとずき、北海道知事が定める額を幕別町が負担する議案を認めていただきました。負担額は事業費の一七・五％となっています。
西糠内地区の土地改良事業が、昭和四十六年調査、四十七年から五十一年までの五カ年計画で施行されることになり、三億七千二百万円の総事業費のうち一七・五％にあたる四千七百六十万円を地元で負担する件が認められました。くわしい内容は別項でお知らせします。

所得税予定納税第二期分の納期です

も考えられております。
所得税予定納税第二期分は十一月一日から十一月三十日までとなっています。納税にあたって、わざわざ税務署まで、おいでになる必要はありません。お近くの銀行郵便局をご利用ください。
農業所得者の方は、農協が納税の窓口となっています。

個人事業税（第2期）

納期限は11月30日です。納期限内に完納いたしましょう。
納付書は1期のとき（8月）送付してありますが、もし紛失しているときは支庁徴収課にご連絡ください。すぐお送りします。

十勝支庁

役場糠内出張所移転

糠内役場出張所は、糠内総合庁舎の完成にともない、十月二十二日に新庁舎へ移転しましたのでお知らせします。

消費者の不安一掃

苦情相談窓口を設けました

有害な食品添加物、二重価格、不法なセールスなど最近消費者の不安となる事柄が続いておりますが、町では消費生活の安定と向上をめざして次の事項を消費者行政の重点施策といたします。

モニターの委嘱

〈消費生活モニターの設置〉

町内における消費の実態をとらえ、今後の消費生活に役立てるため、町内の主婦九名を消費生活モニターとして委嘱いたしました。モニターをお願いした方々は次の

土田サカ代（本町） 飯島尚子（宝町） 久保照子（緑町） 加藤愛子（旭町） 大内田春子（旭町） 前田キミ（札内） 長崎浪（札内） 鈴木カネ（札内） 土井洋子（南町）

モニターの仕事は、毎月一度、食料品を主体とした価格などの調査研究をおこない、また、必要に応じて業者との懇談、アンケートの実施も予定しております、このほか消費者の苦情処理および連絡調整役もお願いしております。



〈消費生活相談窓口の設置〉

消費者から寄せられる苦情の相談と処

理をおこなうため窓口を設けます。役場は都市振興課商工係、商工会は事務局（商工会館内）がその業務を担当します。消費生活に関するいろいろな問題についてお申してください。

商工会館の落成式

去る六月二十二日から建設が進められ十月十日に完成をみた幕別商工会館の落成式が、十月二十七日午後一時から新装なった会館大広間で、内外の招待客多数が参加して開かれました。

式典は笹原商工会長の式辞ののち、中島町長（代）らから、発展をみせる幕別商工会にふさわしい会館であり、今後の活躍を期待する



と祝辞がのべられました。なお、式典の席上、商工会発展につくされた歴代会長、優良従業員が表彰をうけました。

落成式風景

中学校英語暗誦大会入賞者

町内中学校英語暗誦大会が十月十五日に町民会館で開催されました。入賞者は次の通りです。

■一、二年の部

①早苗吉隆 ②山田英孝 ③沢田哲子（以上白人中） ④蔵野庸経（幕別中） ⑤高橋京子（途別中）

■三年の部

①柴田睦郎 ②石田宏之（以上幕別中） ③山田信子 ④山崎優子（以上糠内中） ⑤伏屋達子（明宏）

（白人中）

中学校弁論大会入賞者

町内中学校弁論大会が十月二十日に駒畠中学校で開かれました。入賞者は次の通りです。

①意義ある中学生時代（幕別中二年細岡みゆき） ②ことばの使い方に思う（幕別中二年鎌田貴之） ③私は戦争を知らない（幕別中二年松橋経子） ④公害問題に思う（古舞中三年萩野ひとみ） ⑤初心忘るべからず（白人中二年齊藤明宏）

国民健康保険 (8)

保険で受けられない診療

■病気といえないもの

美容のためのもの、健康診断、日常生活にさしさわりのない先天的な奇形や、どれも正常なお産、経済的な理由による妊娠中絶などは保険はききません。

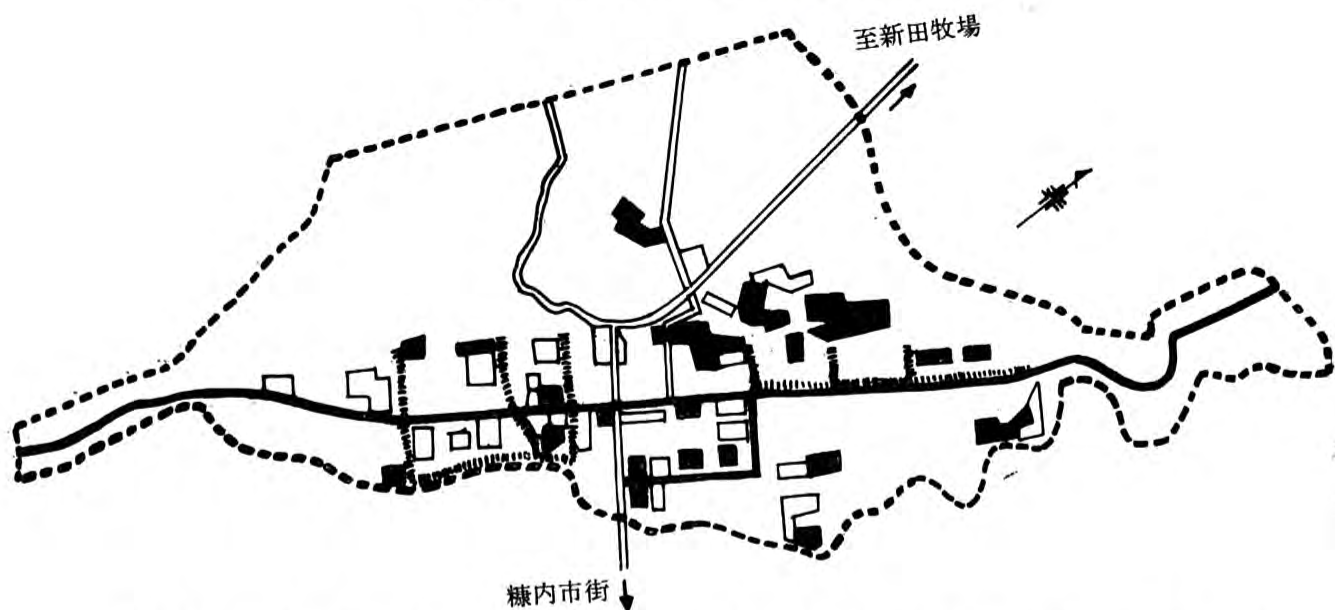
予防注射、予防接種も保険はききませんが、はしか、百日咳については、患者と接触する機会のある人に認められています。このほか狂犬病、破傷風も認められています。

■不行跡や犯罪行為の場合
自分でわざとした行為や犯罪行為による傷病、けんかや酔っぱらってけがをしたり病気になった場合、医師の指示に従わなかった場合は保険はききません。

■仕事の原因のけがと病氣

労働基準法で、仕事のうでけがや病氣をした場合は、事業主が治療費を全額負担することになっていますので、保険給付はされません。

道営西糠内土地改良区域図



---境界線—町道—西糠内基線道路—幹線及び支線明渠—農地造成カ所—暗渠排水カ所

五十二タークを農用地に

道営西糠内
土地改良事業
昭和四十七年に着工

西糠内地区の土地改良事業が、昭和四十七年から道営で実施されることになり、この地元負担四千七百六十万円が十月二十七日の町議会で決まりました。

西糠内地区は明治三十二年の春に猿別地区から移住した竹内園吉さんが草わけで、以後続々と入植する者があり、現在にいたっております。だが、この地区は、どちらかといえば湿地帯で、総面積七百九十ヘクタールのうち畑地、草地は僅か三百二十四ヘクタールしかなく、早くから土地改良の実施が望まれていました。

土地改良の総事業費は二億七千二百万円、うち全体の六〇％にあたる一億三千二百万円が国費負担二二・五％にあたる六千二百二十万円が道費負担、残りの一七・五％（四千七百六十万円）が地元負担となっています。

この地元負担のうち道路などの公共施設分として三千七百六万五千円を町が負担し、残りの千五百三十五万円を、西糠内地区の受益者が負担いたします。

明年は調査をおこない、昭和四

十七年から五カ年計画で着手し昭和五十一年までに次の事業を実施します。

事業	内容	金額 千円
明渠排水路	幹線 4,750m 支線 3,800m	149,600
道路	3条 延長 11,600m	92,800
暗渠排水	面積 59ha	2,800
農用地造成	面積 52ha	20,800
計		272,000

この結果、山林、原野として放置されている四百六十六ヘクタールのうち五十二ヘクタールが農用地に改良されるほか、現在経営されている三百二十四ヘクタールに暗渠排水が設けられ、完成しますと西糠内地区の農業経営は、大規

模な農畜経営に変わることが予想され、期待されております。

なお、事業が完成したのち、この事業で造成された道路三条（総延長一万一千六百メートル）、明渠排水（総延長八千五百五十メートル）は町が譲り受け、維持管理することになっています。

苦情のある方は遠慮

なくご相談ください

不親切なめにあった、どうしてよいかわからない、など役所のことで苦情のある方は、どんな小さなことでも気軽に相談してくれる行政相談委員会にお申し出ください。本町の行政相談委員は、寿町の加藤銀市郎さんで、相談の内容は次の通りです。このほか、どんなことでも相談に応じてくれます。

なお、相談は無料で、相談内容の秘密は固く守ってくれます。

恩給・年金・登記・国税・保険・生活保護・環境衛生・農地・郵便・道路・交通・公営住宅・河川・公害、また国鉄・電々・専売・公団・公庫・事業団などの業務について。

相談は口頭で申し出られるのが最もよいのですが、簡単なものは電話または手紙でも、かまいません。電話は幕別④2818番です。

人口は40年より増加

急激な伸びをみせた世帯数

国勢調査より（概数）

総人口18,386

十月一日を期して全国一斉に国勢調査が実施され、本町でも調査員の方々、町民の皆さんのご協力によって無事終了することが出来ました。紙上でもって厚くお礼申しあげます。

その後、集計事務も順調にすすみ、このほど結果がまとまりましたので、お知らせします。この調査の結果、上の表のように総人口は一万八千三百八十六名、世帯数は四千四百四十七と、前回（昭和四十年）の調査より人口で二百四十一名、世帯数では五百八十五も増加しました。

人口の伸びは住宅団地の造成による人口の定着と企業の進出があげられ、また、都市集中化の傾向が帯広市に近い本町にも波及してきた、と判断されております。これらの条件により、流出人口より流入人口が上向ったものとみられています。

自然増減では、医療技術の向上と衛生知識の普及により死亡率が低下しましたが、家族計画による出生児の減少から、横ばい状態を示しております。

世帯数では人口の伸びを上回る増加ぶりをみせました。この結果一世帯あたりの人口は年々減少、今回の調査では前回の昭和四十年より〇・六人も減少しています。

	40年国調	45年国調	増 減	伸び率
世帯数	3,862	4,447	585	115.1
総人口	18,145	18,386	241	101.4
男	9,060	8,946	△ 114	98.9
女	9,085	9,440	355	103.8
一世帯り 一当	4.7	4.1	△ 0.6	

服部さんらに自治功労章

文化の日 永年の功績を称え表彰

町では町自治功労者表彰条例にもとずき、町政の発展につくした方々の表彰式を、例年、文化の日に開催していますが、昭和四十五年度の自治功労者表彰式を、十一月三日午後二時から商工会館二階講堂で開催いたしました。

晴れの功労章を受けた方は次の四名で、何れも永年にわたって町政発展につくし、その功績は高く評価されております。

現在、町議会議員、農業委員会委員、消防委員会委員、乳牛育成牧場運営委員会委員の職にある。

景山 倫夫 さん
昭和二十五年四月、幕別町衛生会発足と同時に選ばれて会長となり衛生思想の普及高揚に努められた。

また、昭和二十六年四月以来学校医に、昭和二十八年五月には国民健康保険運営協議会委員に就任、保健事業の推進に寄与された。

昭和四十四年十二月には教育委員に選任され、教育行政の進展につくされた。

現在は教育委員、国民健康保険運営協議会委員、学校医衛生会長の職にある。

大内 憲一 さん
昭和二十四年四月より今日にいたるまでの二十一年間にわたって学校歯科医として児童生徒の健康保持に努力された。

また、昭和四十一年四月以来、幕別町衛生会役員として衛生思想の普及高揚に努力され、保健行政の推進に貢献された。

現在、学校歯科医、衛生会監事の職にある。

松嶋 三木男 さん
昭和二十二年四月、新学制施行と同時に学校医となり、今日まで二十三年間にわたって児童生徒の健康保持に努力された。

また、昭和二十五年四月に幕別町衛生会発足と同時に選ばれて副会長となり、衛生思想の高揚に努められた。

昭和四十三年四月、国民健康



保険運営協議会委員となり、以来、保健行政の推進に貢献されている。

現在は国民健康保険運営協議会委員、学校医、幕別町衛生会副会長の職にある。

表彰された自治功労者ご夫妻

肢体不自由児訓練施設
十勝愛育園

表情が豊かになった

お母さん方に好評

去る八月一日、依田の地に開園しました、肢体不自由児通園施設「十勝愛育園」に、現在、一年二カ月の幼児から七歳までの児童十九名が通園し、お母さんとともに懸命に訓練にはげんでいます。

十勝愛育園は開園以来四カ月を経過しました。通園児は訓練士とすっかり仲良しになり、毎日楽しく遊びながら訓練を受け、お母さん方からも、

表情が豊かになった
手足が動くようになった
落着きが出た
数字が読めるようになった
と、たいへん好評をいただいております。



3枚の写真は愛育園でおこなっている訓練の一部で、小さい子供さんにも喜ばれるようにと、遊びの中にいろいろな訓練を取り入れております。これらの訓練を根気よく、くり返すことが最も必要なことは申すまでもありません。



ります。

訓練は器具を使用しての訓練。訓練士、お母さん方が手をかしておこなう訓練。それに温泉を利用した温湯訓練があり、子供さんにとって最も楽しみは遊び道具がいっぱいある温湯訓練だそうです。訓練は日曜以外は毎日午前十時

から十二時まで、午後は一時から三時までとなっています。通園日はお母さんの都合で、いつでも良く、また、この種施設が町内にありますので、有効に利用したいものです。

通園希望の方は、町役場民生課にご連絡ください。



道身障者職業訓練校で

訓練生募集

手や足、または身体に障害のある人に、職業についての技能と知識を身につけさせる北海道身体障害者職業訓練校で、ただいま訓練生を募集しています。

応募資格は身体障害者、肢体不自由者が主となっていますが、訓練

練に耐え得る程度の視聴力障害者も含んでおります。

願書のしめ切りは新規学卒者十二年五月、新規学卒者以外の者は明年二月二十八日で、入校希望者は入校願、身体検査書、出身校の内申書を近くの公共職業安定所へ提出ください。

なお、訓練校は砂川市にありますが、くわしい内容は町役場民生課で、お聞きください。

運転者には魔の季節

冬型の事故に

ご注意ください

交通事故は相かわらず増加の一途をたどり、しかも、車を運転する方々には魔の季節である冬となりました。運転者も歩行者も十分にご注意ください。

冬の事故原因は、なんといっても「スリップ」によるものがトップとなっております。スノーをつけたから、チェーンを巻いたからと安心してはいけません。

「スリップ」事故を防止するには、まず無理な運転をしないこと



が最も大切なことで、このほか十分な車間距離をとることによって冬型の事故「スリップ」による悲惨な出来ごとは半減すると言われております。

また、歩行者は、車がスリップすることもある、ということをお忘れずに、車が完全に停車してから横断歩道を渡るようにいたしましょう。

札内寿会で記念式典

札内寿会の創立十周年記念式が十一月十日午前十時から幕別温泉ホテル大広間で開かれました。

札内寿会とは昭和三十六年十一月二十六日の創立、初代会長に大野吉蔵さん、世話人代表に角田政平さんが、それぞれ選出されました。

ボランティア連盟で

老人世帯を慰問

幕別町青年ボランティア連盟では、先程ダンス・パーティーを開催この収益金で毛布、下着類、タタミ、アンカなどを購入、去る十一月八日の日曜日を利用し、恵まれ



創立十周年記念式の様相

札内寿会と改称したのは昭和三十七年四月から、またこの年に現会長の千賀多金治さんが会長に就任しております。

記念式では、寿会の発展につくした千賀会長、角田世話人、札内婦人会、農協婦人部、札内花泉会に、町長から感謝が贈られました。

ぬ老人世帯を慰問しました。

慰問したのは幕別地区七世帯、

札内地区五世帯の計十二世帯。会員の皆さんは対象家庭の窓にビニールを張ったり、寒い冬を元気にすごしてくださいと、毛布、下着類、アンカなどを贈り、感謝されておりました。

窓にビニールを張る会員

年末の贈答品の発送は早目に年末になりますと一時的に郵便物が集中し遅れがちとなります。年末のご贈答品の発送は遅くとも十一月中に発送してください。

郵便番号は住所の一部

郵便物の区分けは番号によっておこなわれています。番号が記載されていませんと、折角のお便りも遅れる場合もあります。番号は必ず正しくはつきりと書くようにしましょう。

篤志寄付者のお名前

◇匿名の方から交通安全のために使用してほしいと九月に五百円十月に五百円の計千円が町交通安全協会に送られてきました。

◇同じく匿名の方から、恵まれない子供さんのために使用してほしいと、金五百円が送られてきました。

◇本町の髙橋良平さんは病氣全快を記念して金五万円を町社会福祉協議会に寄付しました。

◇千住の三好シゲノさんは、夫（松太郎さん）の香典返しを廃止して金二万円を町社会福祉協議会に寄付しました。

◇糠内中学校校長の小林繁郎さんから糠内公民館に掛軸二幅と油絵一枚が寄付されました。

町内を聖火が通過します

47年の冬季 39名の若人が捧持して
オリンピック

池田町のランナーから引き継いで幕別市街内を走り、止若橋から車で札内へ。札内では春日団地から出発し役場支所前を通って帯広市東八条交番前で帯広のランナーに引き継ぐことになっています。

ランナーは三隊にわかれており、一隊は正走者一名、副走者二名、随走者十名の計十三名で、何れもスポーツ少年団を中心と選考します。

本町の明日を背負う青少年がランナーとして聖火を捧持することは、たいへん意義深い行事といえましょう。

札幌オリンピック冬季大会が一年数カ月後にせまりましたが、十一月十二日に聖火リレー幕別町実行委員会が町民会館で開かれ、聖火リレーの大綱を決定しました。

聖火リレーは昭和四十七年一月二十四日に藤平商店前で

幕別町文化協会 加盟団体を紹介

(1)

町内に
おこなっている団体、これという
数多く結
成されて
いる同好
会、研究
会が相ま
とまり、
幕別町文
化協会を
設立したのは昭和四十三年のこ
とで、協会では結成以来、各種
の事業を主催し、町の文化発展
の推進母体として活躍していま
す。現在、協会に加盟している
団体は二十四、意欲的な活動を

糠内獅子舞保存会

糠内獅子舞の歴史は古く、明
治三十七年に団体入植者が放郷の
富山県伍位村より伍位神社の分霊
を糠内に移し、分宮設立にあつ
て神霊に奉納したのが最初である

はじめ糠内神社の秋季祭典にの
み奉納していましたが、NHKテ
レビに取りあげられてから郷土芸
能として注目され、昭和四十三年
十月に、町の文化財の指定を受け
一般に披露されるようになりました。

金、銀糸で織られた絢爛たる衣
裳を身につけ、ナギナタ、刀、棒
鎖鎌で獅子にたちむかう勇壮な舞
いは、郷土芸能の名にふさわしい
ものといえましょう。

現在の会員数は二十名、代表者
は松岡学さん、指導者は橋本弥信
さんである。



幕別町芸能大会に特別出演し
た獅子舞い

七十周年を迎えた古舞地区

文化の日に祝賀会を開催

明治三十四年春、大西大吉ら五
戸が古舞地区に入植、開拓の轍を
振ってから数えて、ことしで七十
周年にあたるところから、古舞公
区では、古舞地区開基七十周年協
賛会を発足させ準備をすすめてい
ましたが、これの記念式典を十一
月三日午前十時から古舞小中学校
屋内運動場で、来賓、公区民など
多数が参加して開かれました。

記念式典では、古舞地区発展の

ために努力された開拓功労者、古
舞地区に入植以来五十年以上を経
過した七十歳以上のお年寄りその
他を、松田喜太郎協賛会長から表
彰、永年の苦勞に感謝いたしまし
た。

なお、この七十周年を記念して
古舞地区開拓の歩み、家系図その
他を収録した「開基七十年史」を
発刊したほか、今後とも古舞地区
発展のために努力することを誓う

「記念碑」を、公民館敷地内に建
設、記念式典の前に、この除幕
式を開催しました。

完成した記念碑



専修職訓で訓練生を募集
中高年齢者などの転職者、新規
学卒者に技術を修得させる道立帯
広専修職業訓練校で、訓練生を募
集しています。新規学卒者は十二
月五日、転職者は明年二月末が締
切日となっています。くわしい事
は職安でおたずねください。

歌集「あゆみ」が

発刊されました

昭和三十三年十二月に発足以来
十二年もの間、歌作を続けてきま
した「あゆみ短歌会」では、去る
十一月三日に待望の合同歌集を発

刊しました。

あゆみの会では発足した翌年に
歌集第一号、第二号を発刊し、現
在までに十号を数えております。
その後、十号発刊を記念して今ま
での歌作をひとまとめにした合同
歌集を発刊しては、との声があり
この春から編集にかかっていたも
ので、去る十一月五日の午後、町
文化協会が主催して、この発刊
祝賀会を町民会館で開催しました
なお、あゆみの会々員は次の十
一名です。

井上松野(錦町) 勝山春代
(本町) 木藤保一(幸町) 清
水初代(幸町) 高橋由貴子(宝
町) 塚田常子(宝町) 中島文
子(緑町) 野村左一郎(帯広)
正田ヤエ(相川) 森田美恵子
(本町) 山田仙蝶(本町)
発刊された歌集「あゆみ」

